資料５

門真市第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について

１．調査の概要

門真市第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に伴い、国の示す２種類の調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査）を実施します。

それぞれの調査の概要については以下の通りとなります。

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

＜調査の目的＞

心身の状態や自立した生活を送る上での課題、今後の意向などをうかがい、高齢者を取り巻く様々な環境に柔軟に対応し、また介護予防の情報を正確に整理することを目的として実施する。

＜調査実施詳細＞

対象者　　：令和４年 12 月８日現在、65 歳以上（要介護１～５の方を除く）の無作為抽出した市民 2,000 人

調査方法　　：郵送

設問数（予定）：国項目 64 問、市独自項目 17 問

※国項目は国の指針上、設問の文言や選択肢の変更は不可

＜調査の特徴＞

・調査結果を「見える化」システムへ登録することで、経年比較などが可能

※「見える化」システムとは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

・どのような身体状態（運動機能、口腔機能等）の高齢者が、どの圏域にどれだけいるのかが把握可能

■独自項目設定の注意点

・調査結果の活用方針を定めておかないと、独自項目を活用しきれない可能性がある

・政策に個人の意見を反映させられるかのような設問は極力避けるべき

資料５

②在宅介護実態調査

＜調査の目的＞

要支援・要介護認定を受けられている、65 歳以上の在宅の方に対し、「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施する。

＜調査実施詳細＞

対象者　　：令和４年 12 月８日現在、要支援・要介護認定を受けている 65 歳以上で在宅の無作為抽出した市民 2,000 人

調査方法　　：郵送

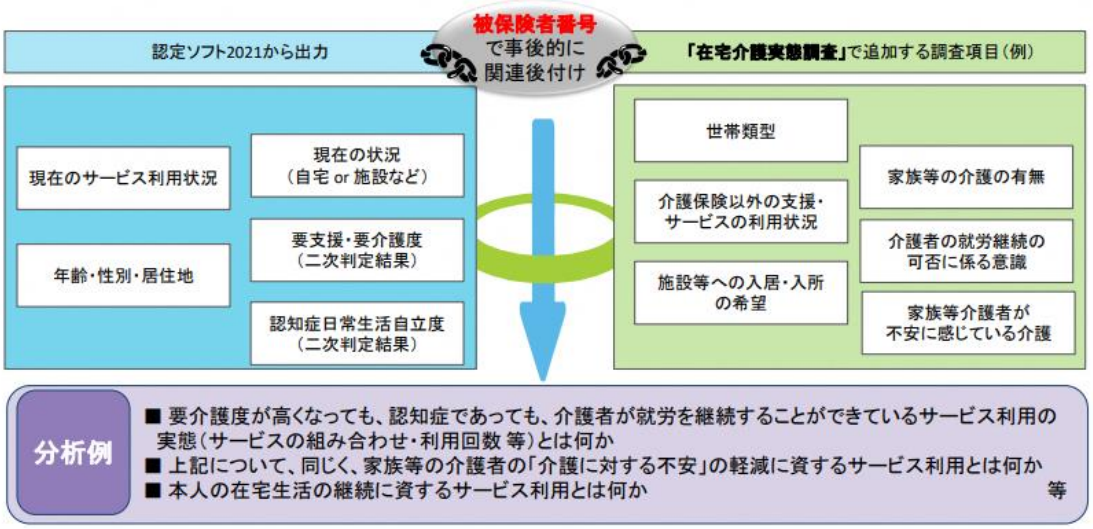
設問数（予定）：国項目 20 問、市独自項目４問

※国項目は国の指針上、設問の文言や選択肢の変更は不可

＜調査の特徴＞

・要介護認定データと調査結果を紐づけた分析が可能

・在宅介護実態調査結果は、見える化システムへの登録により、
認定データとあわせて分析した結果を閲覧することができるようになる予定



資料５

２．調査票（案）

・資料６－１「門真市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」
　資料６－２「門真市在宅介護実態調査」参照

３．調査スケジュール

・調査期間（予定）：令和５年２月１日（水）発送
　　令和５年２月 24 日（金）回答期限（この日までに要投函）
・調査結果　　：令和５年度以降開催予定の審議会でご報告

４．本日の審議会で委員の皆様にご審議いただきたいこと

・調査項目で特に追加を求める項目
・調査の分析にあたって事務局に伝えておきたいこと